

産官学民が協働してバススタンプラリー



くずは・男山のまちを再発見

バスに乗って地域の名所などを巡るイベント「バス！乗って スタンプラリー」を、3月26日、くずは・男山地域周辺で開催しました。これは、公共交通部会が、環境にやさしいバスを利用して“まち”を便利に楽しんでもらおうと作成した「くずは・男山バスタウンマップ」の完成記念イベントとして行ったものです。イベントには、多くの親子連れをはじめ約180人の市民が参加し、市民の森など地域の名所を楽しそうに巡るなど、バスを利用した休日のレジャーを楽しんでいました(2ページに関連記事)。

目次

バス！乗ってスタンプラリー	2
第1回理事会開催	3
各部会&運営委員会の活動	4
事務局紹介	6
お知らせコーナー	7
団体紹介(作人)	8

「くずは・男山バスタウンマップ」完成記念イベント

環境にやさしいバスを利用し「まち」を楽しむ

加者
マップを手にスタンプポイントを巡る参



マップを手に 14 か所のポイントを巡る

まず初めに、樟葉駅前の広場に参加者が集まり、ネットワーク会議のメンバーである大阪大学の松村暢彦先生が「バスは、車より環境にやさしく、車に乗れない高齢者の足となり、子どもたちが社会のルールを学ぶ場になる」と“バスとまちの話”をし、マップの使い方などを説明しました。

京阪バスや京阪宇治交通などの協力のもと行われたスタンプラリーでは、一日乗車券やタウンマップなどを手にした参加者たちが、それぞれバスに乗り込みました。

参加者は、市民の森や松花堂庭園、あらかし公

園など 14 か所に設けられたポイントを、バスを効率よく利用しながら巡りました。

午後 3 時 30 分からは、再び樟葉駅前広場に集合し、多くのポイントを巡った人の表彰や、スタンプの並び方を競うピンゴゲームなどで楽しみました。

「バスでまちを巡るのも意外と楽しい」との声も

参加者からは、「ふだんバスをほとんど利用しないが、バスに乗ってまちを巡るのも意外と便利で楽しい」、「車イスで始めてバスに乗った」などの声が聞かれました。

「くずは・男山バスタウンマップ」...人や環境にやさしいまちづくりを推進することをめざし、“バス”を使って、くずはや男山の“まち”を便利に楽しめるよう、市民が中心となって作る“おもしろ便利マップ”です。マップづくりでは、くずはや男山の自治会などの協力を頂き、概ね全世帯となる約 2 万 6000 世帯を対象にアンケートを実施し、897 世帯の方から約 2400 件の意見や情報を頂きました。

バススタンプラリーで分かったこと

車からバスへの利用転換に期待

車に依存できない高齢者などの外出手段として、また車中心の社会における環境負荷低減対策として、分かりやすいまちやバスの情報を提供し、車からバスへの利用転換を促進していくことが必要です。

日頃バスを利用しない人から「バスやまちを身近に感じる事ができた」「どのバスに乗ればよいか分かった」という声が聞かれたように、

バスタウンマップを活用すれば、車からバスへの利用転換も期待できることが分かりました。

また、市民が中心に取り組んだことにより、くずは（枚方市）と男山（八幡市）という行政界を越えた自治会同士が一緒になって取り組めたことや、産官学民が協働したことも成果の一つと言えます。

「くずは・男山バスタウンマップ」は、生まれただけです。今後は、さらに地域の人々とともに、第 2 弾、第 3 弾……と親しまれるマップに育てていく予定です。

理事会

各種規則・部会設置の承認や運営委員を任命 18年度補正予算・事業計画など承認



「第1回理事会」を、3月30日に、サプリ村野の会議室で開催しました（写真上）。

事務所所在地や事務局員の採用などを承認

理事会は、午後1時5分に開会し、理事総数16名、出席者12名（本人出席10名、委任状出席2名）により、定足数を満たしていることが確認され、理事会が成立しました。

その後、議長に谷崎利男理事長を選出し、議事に入りました。議長の進行により、第1号議案「主たる事務所の所在地に関する件」、第2号議案「規

則承認の件」、第3号議案「運営委員任命の件」、第4号議案「部会設置承認の件」、第5号議案「事務局職員採用者承認の件」、第6号議案「事務局職員給与承認の件」、第7号議案「取引金融機関承認の件」、第8号議案「平成18年度補正事業計画承認の件」、第9号議案「平成18年度補正予算案承認の件」を個別に審議し、すべての案件が、原案どおり承認可決されました。

なお、議事録は、ホームページにアップしていますのでご覧ください。



理事会に出席した理事・監事

理事会で任命された運営委員

種別	氏名	担当	
委員長	石原 了		市民
委員	石川 聡子	部会担当、環境教育サポート部会	市民
	鍛冶谷 知宏	スタッフ会議担当	市民
	鎌田 徹	部会担当、公共交通部会	市民
	末岡 妙子	スタッフ会議担当	市民
	谷崎 利男	統括・行政担当	市民
	中村 正紀	部会担当、ごみ・エネルギー部会	市民
	新島 健士	部会担当、まちづくり部会	市民
	廣田 武司	スタッフ会議担当	市民
	丸井 晶子	部会担当、自然環境部会	市民
	浜津 俊介	統括・行政担当	枚方市

●各部会の活動

自然環境部会



環境保全は自然破壊？

前回の「環境ひらかた」で、サダ東小学校学校林の保全活動の取り組みの報告をさせていただきました。

12月3日に1回目の活動を行い、3月18日で6回を数えました。この間の参加人数は延べ50人にもなり、その甲斐あって随分整備されました。土砂崩れの引き金になるといわれている竹藪を整備することは環境保全活動です。

ところが整備を進めていく中で、それまで出没？していた狸が姿を見せなくなりました。「狸がいなくなったということは自然破壊では？」「環境保全といって自然破壊をしているのでは？」との指摘を受けました。皆さんはどのように考えますか？

ごみ・エネルギー部会



「食の市内循環システム」の試験的構築を目指す

ひらかた自然エネルギー学校（RESH）運営WG：第1期修了者から新たなRESH運営スタッフが加わり、今年度の準備がスタートしました。

廃食油リサイクルWG：花村産業の開発製品「代替ディーゼル燃料評価用発電システム実験装置」は、非常用電源装置として広く採用されており、この度東京国際フォーラムで1月に行われた「ベンチャーフェア-JAPAN2006」に出展し、注目を浴びました。

地域ごみ減量WG：生ごみのたい肥化、減農薬・有機野菜の栽培を核とする「食の市内循環システム」の試験的構築を目指して、調査・意見交換をしています。

雨水モニターWG：「おおさかレインボウぷるじゅくと！」の一環で活動するのに加えて、北大阪打ち水ネットにも参加し、7月の「くらわんか打ち水大作戦」に参加する予定です。

公共交通部会



牧野レンタサイクル実験報告書を枚方市に提出しました

牧野レンタサイクル実験報告書提出...3月2日、小堀副市長に提出しました。その中で、今後枚方市と協働でレンタサイクルシステムの構築について、検討を進めることを提案しました。

「くずは・男山バスタウンマップ」完成記念イベント「バス！のってスタンプラリー」を3月26日に開催しました。大人気でお申し込み者多数につき、3月16日には受付を締め切らせていただきました。当日は大盛況のうちに無事終了しました。

平成18年度は、・バスタウンマップ追加情報シートの作成、・楠葉地域交通環境ワークショップ、・レンタサイクルシステムの検討、・自転車道マップづくり、・公共交通シンポジウムなどの活動を予定しています。